

# 提 言 書

平成23年2月22日

栗山町まちづくり100人委員会

# 栗山町のまちづくりに関する提言書

栗山町まちづくり100人委員会

## 1. テーマ

「地域医療の安定的確保」に向けた取り組みの推進について

## 2. 現状（課題・問題点など）

地域医療の安定的な確保は、超高齢化社会に確実に向かっている現状で、最も重要視すべき行政課題です。

まちづくり100人委員会は、地域医療に関するこれまでの協議の中で、地域医療に関わる町内の現状を、以下の4点に整理してみました。

- (1) 特定健康診査の受診率が目標値よりもかなり低い。特に、市街区域における低受診率が目立つ。
- (2) 国民健康保険に加入している町民の医療機関への受療動向は、入院・外来共に町内に求める事例が多いが（平成19年までの統計）入院の場合は経年的にその比率が低下している。一方、外来の場合は経年的な低下率が少なく、町内での受療率が安定的に高い。
- (3) 町内の悪性新生物、心疾患、脳血管疾患による死亡率（人口10万人対比）は、全道平均を大きく上回っている。
- (4) 行政は、地域医療・保健対策室を平成22年4月に設置し、地域医療の諸問題に対応した業務を行っている。

以上のような現状の中で、行政と住民が何をなすべきかを考え、以下のような提言をまとめました。

## 3. 提言内容

- (1) 特定健診の受診率を向上させるため、次の取り組みを行うこと。
    - 低受診率となっている地区・年令層に特化した啓発活動を行う。
    - 町内の医療機関に外来受療している町民の全てが、特定健診の受診者になるように、各医療機関との連携を強化する。
    - 重要疾病による死亡率の高さと、低受診率とを関連づけた啓発活動を考える。
  - (2) 町民の受診動向に関する最新情報をまとめ、その結果に基づく行政のスタンスを明らかにすること。
    - 救急医療への対応比率は十分かどうか。
    - 外来の町内受療率の高さは評価に値するかどうか。
    - 入院の町内受療率が低い現状をどのように考えるか。
- 以上の3点に関する考え方をそれぞれ整理し、2次医療圏・3次医療圏との連携の中で、上記3点のあるべき姿をどのように描いているか。

( 3 ) 地域医療・保健対策室における業務状況を広報等で頻繁に紹介し、地域医療に取り組む姿勢を PR すべきである。

#### 4 . 具体的推進の方策

##### ( 1 ) 行政がなすべきこと

提言内容を検討し、地域医療の現状分析から見た今後の方向性を示すこと。

医療圏、特に 2 次医療圏との役割分担の設定に関する協議を進めること。

健康の維持・増進に必要な、日常的な町民の活動を支援する態勢を強化すること。

##### ( 2 ) 町民がなすべきこと

健康管理に関する関心を高め、地域医療の確保に係る懇談会や学習会などに積極的に参加すること。

健康の維持・増進に努め、安易な受診を慎むとともに、自らの健康に関する相談ができる医療機関を持つこと。